

介護ロボットと人の共生って成り立つの？ 介護ロボットメーカーからみた介護の新しい未来

講師：株式会社aba 代表取締役 宇井吉美



介護のトレンドの今とこれからを知る

- ・介護ロボットってなんなの？
- ・何を介護ロボットっていうの？
- ・AIに人の仕事って取られちゃうの？
- ・福祉用具・自助具・介護機器・
- ・介護ロボット…それぞれ何が違うの？
- ・介護ロボットって買ってくればいいのか？
- ・入れるときに何をするの？
- ・メーカーって現場のこと考えているの？

【研修内容】

高齢化の波が押し寄せる一方で深刻な人手不足が叫ばれる介護業界。テクノロジーをどのように活用し、課題を解決しようとしているのでしょうか。介護現場の負担軽減の切り札として期待されている介護ロボットについて、業界のパイオニアである宇井氏と一緒にこれからの介護の生産性向上・業務効率化について考えていきましょう。

株式会社aba 代表取締役 宇井吉美

2011年、千葉工業大学在学中に株式会社abaを設立。
中学時代に家族介護をしている中で得た「介護者側の負担を減らしたい」という思いから、介護者を支えるためのロボット開発の道に進む。

学生時代に「排泄ケアシステム『Helppad（ヘルプパッド）』」の開発を開始、現在製品化。

2019年、文部科学省 科学技術・学術政策研究所より「ナイスステップな研究者」に選出。